

ちたのふくし



URL <https://www.chita-shakyo.com/>

E-mail shakyo-c@ma.medias.ne.jp

やさしさの輪 シトラスリボンプロジェクト!



新型コロナウイルス感染症への差別をなくそう!

5月に緊急事態宣言が出され、未だに感染拡大していますが、拡大と合わせて感染から回復した人や医療従事者への差別や偏見が新たな問題として浮上してきました。

そんな中、知多翔洋高等学校がコロナ禍で生まれた差別、偏見をなくす「シトラスリボンプロジェクト」を実施することになり、生徒にボランティアを募り、1000個のシトラスリボンを手作りしました。社協は資材購入費用を助成しました。

シトラスリボンは、コロナワクチン接種会場、イトーヨーカドー知多店で配布する予定です。

社協職員もプロジェクトに賛同し、職務中はリボンをつけています。

コロナ禍の終息はもちろん、差別、偏見の撲滅を願うばかりです。

シトラスリボンプロジェクトとは、コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛の有志がつくったプロジェクト。愛媛特産の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めている。リボンやロゴで表現する3つの輪は、地域と家庭と職場(学校)を表しています。

本会主催の行事・講座などについて、災害や新型コロナウイルス感染症拡大防止、その他の事情により、やむを得ず中止・延期させていただく場合がありますのでご了承ください。

その際、本会ホームページ・SNSで情報発信しますのでご了承ください。

社会福祉法人 知多市社会福祉協議会

〒478-0047 知多市緑町32番地の6 TEL.0562-33-7400 FAX.0562-32-1479

ちたのふくしは、みなさまから寄せられました赤い羽根共同募金を財源としています

孤立させない支援を目指して

自立生活サポートセンターでは

- 自立相談支援事業
 - 家計改善支援事業
 - 資金貸付事業
 - ひきこもり支援事業
- などを実施しています。
- 今回はその柱でもある自立相談支援事業と家計改善支援事業についてご案内します。

お困りごとの一例

- 生活に困っている
- 仕事が見つからない
- 家賃を払えない
- 将来が不安
- 住むところがない
- 家族のことで悩んでいる
- 病気で働けない
- 社会に出るのが怖い

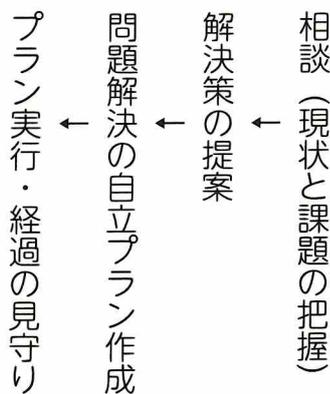
このようなお悩みがあればぜひご相談ください

自立相談支援事業

生活に関する様々な困りごとと一緒に考え、支援を行います。みなさまが自分の力を生かしながら周りの人々とお互いに支えあう自立した生活が送れるようお手伝いをします。

必要に応じて関係機関に行ったり、就労につなげる支援をして、相談者に合ったプランを作成し、生活再建のお手伝いをします。

自立相談支援の流れ



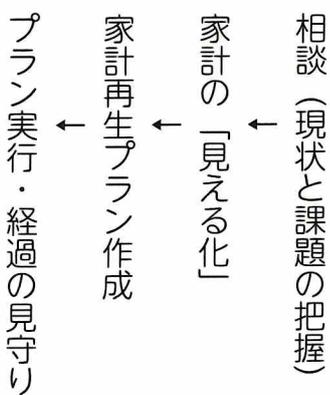
家計改善支援事業

自分で家計を管理することが難しいと感じている方に、家計の見直しや生活改善を一緒に行っていきます。

まず家計簿を作成し、家計を「見える化」します。具体的に家計状況を把握することで、課題を理解し、「自分で家計管理する力」を身につけます。

この他に、利用できる制度の情報提供や利用支援、債務整理に関する支援も併せて行います。

家計改善支援の流れ



自立相談支援事業、家計改善支援事業ともにみなさまの思いを大切にしたい支援を心がけています。

開館時間

平日 午前8時30分～
午後5時15分

（土・日・祝日・年末年始を除く）

場所

福祉活動センター

※新型コロナウイルス感染症予防として相談時には検温の実施、パーテーションの設置、アルコール消毒や換気を徹底しております。

通訳から見た外国人相談の現状

自立生活サポートセンター（以下、センター）の相談者の約3割は、外国籍の方です。新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）の影響で、減収や仕事を失ったなどの相談が増えています。センターでは、昨年8月よりスペイン語の外国人通訳者を配置して対応しています。今回は通訳から見た現状をお伝えします。



通訳のエレナさん

初めまして、プラド ヨシカワ マリア エレナと申します。名前が長く、どう呼べばいいの？と聞かれることが多いのですが、ヨシカワやエレナと呼ばれることが多いです。国籍はペルーです。毎週月曜日・金曜日の週2日9時から15時までの勤務です。私は8歳の時に日本へ来ました。母国語はスペイン語です。最初は、日本語が分からなくコミュニケーションが取れなかったり、聞きたいことを理解できなかったりしたので、今、センターへ来館される外国人の方の気持ちが少し分かる気がします。今こうして通訳の仕事をし、たくさんの外国人の方をサポートできることをとても嬉しく思っています。

相談としては、コロナの影響で解雇され、仕事を失ったという方がもっとも多いです。「言葉の壁が大きく、なかなか職が見つからない」、「仕事もアルバイトや日雇いで担当者からの連絡があれば仕事に行く」という声をよく聞きます。コロナから1年以上経っていますが、未だに職が見つからず焦り始めている方もいます。日本語を話すのも大事だと思いますが、仕事の流れなど丁寧に教えていただければ仕事ができる方はたくさんいらっしゃると思います。そうなれば働きながら日本語も覚えられると思います。日本語を覚えなくても大丈夫と思っていた方でも、今ではひらがな、カタカナの読み書きができるようになったと教えてくれる方もいます。日本語がいろんな形で学べる機会が増えるといいですね。これからも外国人の方をしっかりとサポートし、気軽に安心して相談に来られるよう力を尽くしていきます。どうぞ気軽に来てください。

(スペイン語訳)

SITUACION ACTUAL DE LAS CONSULTAS DE LOS EXTRANJEROS DESDE LA PERSPECTIVA DEL INTERPRETE

Alrededor del 30% de las personas que vienen a consultar al centro son extranjeros, debido al contagio por el nuevo corona virus están aumentando las consultas por la disminución de horas laborales y pérdida de trabajo. Desde agosto del año pasado, el Centro tiene una intérprete en español, en esta ocasión les contaremos sobre ello.

Mucho gusto, mi nombre es María Elena Prado Yoshikawa. Mi nombre al ser tan largo me preguntan ¿cómo puedo llamarte?; me suelen llamar por Elena o Yoshikawa. Trabajo los lunes y viernes de 9 a.m. hasta las 3 p.m.; dos veces por semana. Soy peruana, llegué a Japón a los 8 años, mi idioma materno es el español. Al principio como no sabía el idioma japonés no podía comunicarme, expresarme, es por ello que siento que entiendo un poco los sentimientos de los extranjeros que visitan el centro. Estoy feliz de trabajar como intérprete y poder ayudar a muchos extranjeros.

La mayoría de consultas son que debido al "corona virus" fueron despedidos, a menudo escucho a las personas decir (es difícil encontrar trabajo debido al idioma) que trabajan tiempo parcial o por contrato de un día y van a trabajar solo cuando el encargado los llama. Ha pasado más de un año desde el nuevo corona virus, y las personas que aún no consiguen trabajo se están desesperando. Es muy importante hablar el idioma japonés, pero hay muchas personas que si le enseñan detenidamente el procedimiento del trabajo podrían trabajar sin importar tanto el idioma. Así también trabajando, creo que podrían aprender el japonés; me comentan algunas personas que pensaron que no era necesario aprender el idioma japonés que ahora se han puesto a estudiar y ya aprendieron a leer y escribir el hiragana y katakana. Sería muy bueno si hubiera más oportunidades de aprender el japonés de varias maneras, mientras tanto seguiré apoyando a los extranjeros y hare mi mejor esfuerzo para que puedan venir a consultar con facilidad y tranquilidad. Vengan a consultar sin ningún compromiso

フードドライブ事業
「もったいない」を
「ありがたい」に

一時的に食料を必要としている世帯などへ食の支援・食品ロス削減を目的として、ご家庭で余っている食品を寄付していただくフードドライブの取り組みを行っています。

未だ続くコロナ禍で生活に困り、不安を抱えている方や、なかにはお子さんへ満足に食べさせてあげることができないなどの相談を受けることもあります。

これまでも市民の方々をはじめ、市内事業者様からまたくさんのご協力をいただき、2年度は、延べ120件の食品のご寄付をいただきました。現在、生活にお困りの方が相談に来られた際に、「生活応援まごころセット」としてお渡ししています。2年度は、延べ438世帯に配布いたしました。

「もったいない」が「ありがたい」



生活応援まごころセットの内容例

とう」に変わるフードドライブ。この苦境を乗り越えていくためにも、みなさまからのご協力をお願いいたします。

寄付いただきたい食品

・ お米、パスタ、素麺などの乾麺

・ 缶詰、レトルト・インスタント食品

・ お菓子、離乳食、海苔などの乾物

・ 醤油、食用油などの調味料、飲料

※未開封で賞味期限1か月以上で常温保存が可能なもの

相談・居場所のご案内

	フリースペースまな	知的障がい者相談	①おもちゃ図書館 ②おもちゃ病院ちた
内容	ひきこもり・不登校の方で、ちょっとひと休みしたいときなど、お気軽にご利用ください。	市の知的障がい者相談員が相談にのります。 相談員：村井英子 むらいえいこ やまもとみさと 山本美里	①市内の知的障がいのある子や3歳未満の子は、誰でも遊べます。気に入ったおもちゃは貸出可能です。ぜひ遊びに来てください。 ②おもちゃの修理を希望する場合は、直接お持ちください（精密機器・電子機器等は修理不可の場合あり）。
日時	毎月第2・4 土曜日 13:30～16:00	要相談	①毎月第2土曜日 10:00～15:00 (受付は14:30まで) *7・8月は休館します。 ②①の開館日 13:30～15:30
場所	福祉活動センター		
費用	無料		無料 (②の修理で要部品交換の際、ご相談のうえ実費を頂く場合あり)
申込み	要 0562-39-3060 (自立生活サポートセンター)	要 (当日相談も可能な場合あり) 0562-33-7153 (地域福祉課)	不要

知多市高齢者相談支援センター通信

知多市高齢者相談支援センター（知多包括支援センター）

知多市高齢者虐待相談センター 新知字永井2-1 TEL.0562-54-1211

これからの「介護予防」について

◎そもそも、「介護予防」とは？

介護予防は、高齢者が要介護状態などとなることの予防又は要介護状態の軽減もしくは悪化の防止を目的として行うものです。

身体も心も健やかに活動し、
家庭や社会での役割を果たす

楽しみながら生活を送る
ことが大切！！

◎厚生労働科学研究班より

「社会参加と介護予防効果の関係」について、要介護認定を受けていない約17万人の高齢者を対象として調査した結果です。

★趣味関係のグループへの参加割合が高い

⇒ うつのリスクが低い

★スポーツ組織への参加割合が高い

⇒ 過去1年間に転倒した前期高齢者（65～74歳）が少ない

★ボランティアグループなどへの参加割合が高い

⇒ 認知症リスクがある後期高齢者（75歳以上）が少ない



お知らせ

家族支援プログラム

日時 毎月第3水曜日

午後1時～4時

会場 市民活動センター

内容 介護者の負担を軽くできるよう、認知症や介護方法などについて学びます。

定員 20名

対象 認知症の初期～中期（最も介護困難な時期）の方を介護しているご家族で、全回参加できる方

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～11時30分

会場 福祉活動センター

内容 介護の実体験を踏まえた、男性目線での情報交換を行います。

定員 15名

日時 9月10日（金）

午後1時15分～3時15分

会場 福祉活動センター

内容 カラフルキャンドルづくり

講師 疲労回復術

対象 高齢者を介護されているご家族

定員 15名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

男性介護者のカフェ

日時 毎月第3火曜日

午前10時～11時30分

会場 福祉活動センター

内容 介護の実体験を踏まえた、男性目線での情報交換を行います。

対象 認知症の方を介護されている男性

定員 15名

日時 9月10日（金）

午後1時15分～3時15分

会場 福祉活動センター

内容 カラフルキャンドルづくり

講師 疲労回復術

対象 高齢者を介護されているご家族

定員 15名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

日時 毎月第3水曜日

午前10時～正午

会場 福祉活動センター

内容 認知症の方を介護されているご家族

定員 20名

令和2年度知多市社会福祉協議会 主な事業の報告・資金収支の状況

I 市民本位の福祉サービス

視覚障がい者情報提供事業(音訳・点訳)
 知多市高齢者相談支援センター(知多包括支援センター)の運営
 発達障がい理解セミナー(103人参加)
 ふくし川柳(応募総数502点)
 社会福祉協力校事業(実践教室、社会福祉文庫)
 福祉教育セミナー(18人参加)

II 市民の支え合い活動の活性化

あんしんとなり組・災害時要援護者支援事業
 ・確認書締結地区(70町内会)
 ・研修会開催(163人参加)
 コミュニティ地域福祉活動推進事業
 前年度会費の20%を10コミュニティに助成
 若者未来応援事業
 ・若者サポート進路を考える会(70人参加)
 ・若者サポートセミナー(48人参加)
 ・啓発活動
 総合ボランティアセンター事業
 ・センター運営委員会の開催(3回)
 ・ボランティア研修(18人参加)
 ・ミニ講座(13回・83人参加)
 発達障がいサポーター養成講座(8人参加)
 発達障がいサポーターフォローアップ事業
 (10人参加)
 ふれあい・いきいきサロン支援(44か所)

III 誰もが参加できる健康・生きがいづくり

移送サービス事業(10件利用)
 車いす貸し出し事業(125件利用)
 介護保険外対応ホームヘルプ事業・生活応援サービス「かがやき」(188回利用)
 障がい者居宅介護等事業
 (居宅介護3,788回・移動支援183回利用)
 フリースペース「ひみつきち」(発達障がい児居場所づくり事業)(1,230人参加)
 フリースペース「まな」(ひきこもり・不登校居場所づくり事業)(13回・166人参加)
 ひきこもり訪問サポーター打合せ会(7人参加)
 日本福祉大学等とひきこもり支援の合同研究事業(180人参加)
 長期・年長ひきこもりを抱える家族の集い(11人参加)

IV 連携のとれた施策・活動の推進

生活支援体制整備事業
 (協議体運営事業・第2層コーディネーター)
 特別支援教育を考える交流会(39人参加)
 災害ボランティアコーディネーター基礎力向上講座(3回・62人参加)

V 孤立しない・させない関係づくり

生活困窮者自立支援事業
 ・自立相談支援事業(4,602件対応)
 ・家計改善支援事業(657件対応)
 フードバンク事業(122件対応)
 フードドライブ事業(120件受領)
 日常生活自立支援事業
 (福祉サービスの利用援助など9人利用)
 資金貸付事業
 ・緊急小口資金(555件対応)
 ・総合支援資金(198件対応)
 ・まごころセット支給(316件対応)
 ・つなぎ資金(19件対応)

VI 信頼される社協づくり

ちょこっと募金(30店・施設)
 福祉活動センターの管理経営

VII 介護保険・障がい福祉事業の推進

障がい者相談・特定相談支援事業
 (相談件数11,412件)
 訪問介護事業(9,466回利用)
 居宅介護支援事業
 (居宅サービス利用計画作成1,146件)

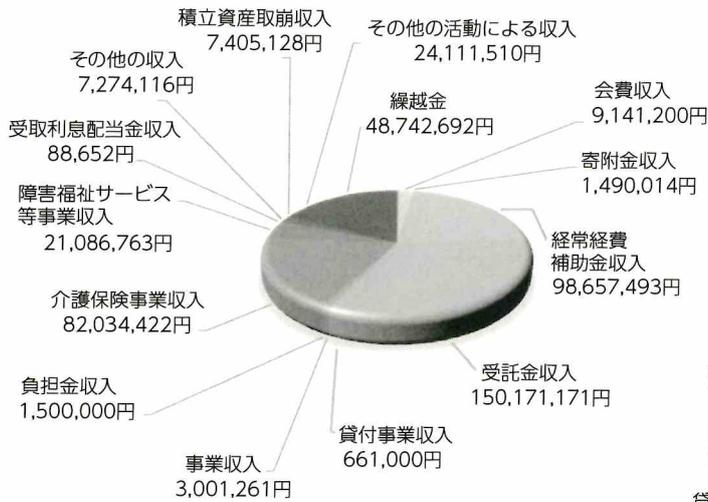
※新型コロナウイルス感染拡大防止により、

手話奉仕員養成講座、傾聴ボランティア訪問支援事業、買物支援ボランティア派遣事業、青少年ボランティア・市民活動体験事業、ボランティア講演会、災害ボランティアコーディネーター養成講座などの事業を取りやめました。

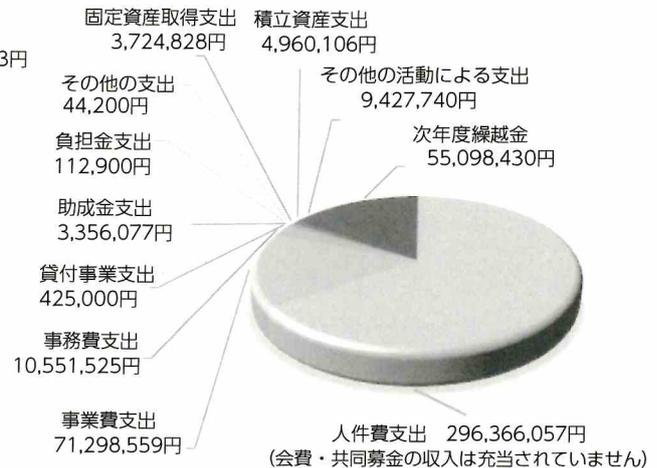
また、感染予防対策のため、オンラインでの事業実施をしました。

令和2年度知多市社会福祉協議会資金収支決算

収入額 455,365,422円



支出額 455,365,422円



決算書類（事業報告書、財産目録、貸借対照表、収支計算書）は、福祉活動センターでもホームページ閲覧することができます。

「ちょこっと募金」は、下記の市内22の協力店・6施設（老人福祉センター、八幡福祉会館、東部福祉会館、岡田福祉会館、総合ボランティアセンター、福祉活動センター）に設置の募金箱へ寄せられる募金です。2年度は総額67,335円の募金を賜り、お礼申し上げます。この募金は、総合ボランティアセンターの事業（青少年ボランティア・市民活動体験事業、ボランティア講演会など）に役立てられます。

「ちょこっと募金」は、下記の市内22の協力店・6施設（老人福祉センター、八幡福祉会館、東部福祉会館、岡田福祉会館、総合ボランティアセンター、福祉活動センター）に設置の募金箱へ寄せられる募金です。2年度は総額67,335円の募金を賜り、お礼申し上げます。この募金は、総合ボランティアセンターの事業（青少年ボランティア・市民活動体験事業、ボランティア講演会など）に役立てられます。

「ちょこっと募金」
協力をお願ひします
協力店も随時募集中

「ちょこっと募金」協力店（順不同・敬称略）

LEXUS 東海	本の王国 知多イトーヨーカドー店
喫茶コッチ	カフェ ダークキャニオン
カフェレスト アジュール	カイロプラクティック イシス
寺本饅頭本舗	株式会社かなん堂
森田屋伸嘉 本店	ジュエリー萬喜
じろきん本店	Coffee & Kitchen WISH BONE
丸源ラーメン知多店	Coffee & Kitchen WISH BONE キャンプ
ファミリーマート知多清水が丘店	ちゃんこ友綱
オット朝倉店	池野商店（ヤマザキYショップ新舞子池野店）
コーヒーハウス アルファ	タキタ文房具店
モダンカフェみつ亭	カフェ・ド・ザウルス

みなさまのご協力が知多市の福祉につながります！ ～知多市社会福祉協議会 会員制度について～

知多市社会福祉協議会では、コミュニティのご協力の下、会員募集を実施し、今年も多くの住民の方に社協会員になっていただきました。誠にありがとうございます。

しかし、知多市社会福祉協議会の会員制度が分からない、どのように使われているか知らないという方もお見えになります。

そこで今回、知多市社会福祉協議会の会員制度について解説します。

社会福祉協議会とは、地域の福祉課題をみなさまや関係機関と共に考え、協力して解決に導く、営利を目的としない民間組織です。

社会福祉協議会が「会員制度」を用いているのは、住民のみなさまにも、知多市の福祉を担っているという思いを持っていただきたいこと、また住民のみなさまと協働して活動していくために「会員制度」をとっています。知多市の地域福祉推進のため、みなさまの思いをぜひ「社協会費」に託してください。

社協会費を財源とした事業の様子



発達障がい理解セミナー



移送サービス（写真は貸し出し車両）



あんしんとなり組 研修会



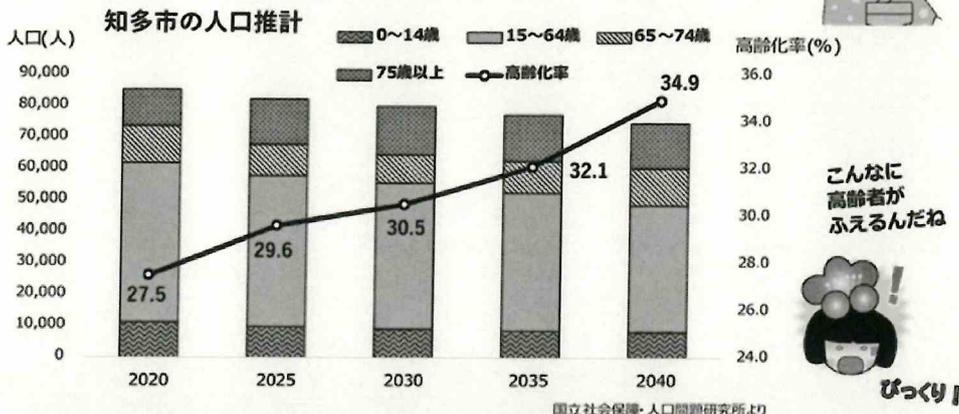
ふれあい・いきいきサロン

3年度 コミュニティ地域福祉活動推進事業として1,666千円使われます

0歳～100歳知多市民の想いをカタチに、つながりをチカラに 地域包括ケアシステムだより ②

「地域の支え合い」についてのお問合せが多くありましたので、今までの内容を見直し、そうした疑問について分かりやすく記載したパンフレットを作成しました。

1 これからの知多市はどうなるのかな？



こんなに高齢者がふえるんだね



○高齢化が進むことにより、医療・介護サービスの需要がさらに増加すると考えられます。

○15～64歳の「生産年齢人口」が減少するため、将来の担い手不足が深刻です。介護保険等の公的サービスだけでは対応することが困難になります。

2 具体的には何をしたらいいの？



1 健康寿命を延ばす

健康的に生活を送ることのできる期間の「健康寿命」を延ばすことが大切です。

サロンや体操教室等の「通いの場」に積極的に参加しましょう。

また、いつまでもいきいきと過ごすためには、食生活や適度な運動等に加え、地域の社会参加等の活動が有効であると言われています。

2 支え合いの地域づくりを進める

ゴミ出し・清掃や電球の交換、見守り活動等、介護保険制度を使わなくても、日常生活のちょっとした困りごとを、お互いに支え合うことで解決できることがあります。

そこで、元気な高齢者は支え手として「互助」で支え合う「生活支援」が大切になってきます。

まずは、1日でも長く健康に生活できるよう健康寿命を延ばすことが大切です。

また、ご近所さんやコミュニティ、老人クラブなど多様な地域の関係者がお互いにつながり、お互いさまで助け合うことが重要です。

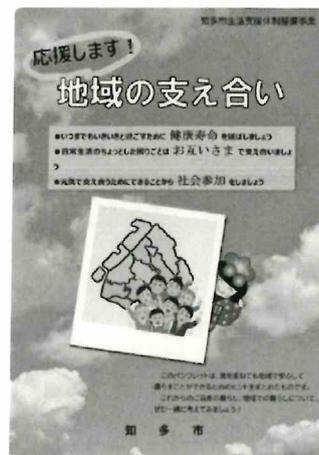
地域活動に参加することは自分のためにもなるんだね！



3 このパンフレットはどこでもらえるの？



新しいパンフレットは、市役所や高齢者相談支援センターで配布しているほか、各地区の生活支援コーディネーターも配布をしていますので、お気軽にお声がけください。



夏休み!

ボランティアにチャレンジ!

もうすぐ長い夏休み! 予定はもう決まっていますか?

3年度は、コロナ禍で高齢者施設や子どもと直接ふれあうボランティアは減ってしまいました。環境や国際理解、まちづくりのボランティア団体での体験ができます。そうきんや保育園で使う雑貨などを製作するボランティア体験も新たに提案しています。

対象は中学生以上で、大人の方でも大歓迎です。

事前説明会で、注意事項など説明します。受入れ団体やご参加いただくみなさまには、新型コロナウイルス感染症対策をしっかりとっていただき、事業を実施していきますので、この夏はボランティアにチャレンジしてみてください!

■申込期日■

7月1日(木)~10日(土)

(日曜日を除く9日間)

平日は9:00~19:00

土曜日は9:00~17:00

当センターへお申し込みください。募集冊子は、市内公共施設や当センターにありますので、ご覧ください。

■事前説明会■

①7月27日(火) 10:00~

② 同日 13:30~

③7月28日(水) 10:00~

④ 同日 13:30~

各日定員20人、約60分

会場は、市民活動センター(勤労文化会館北側)★①~④のいずれかに必ず出席してください。都合が悪い方はご相談ください。

■活動期間■

8月2日から31日の間の施設や団体の指定する日



《体験の感想》

手話サークル「ほおずきの会」



手話を熱心に練習している様子

手話サークルを通して話せない、聞こえない人の立場になってコミュニケーション方法を知ったり、手話で自己紹介などをしました。普段こういった体験は、ボランティアでしかできないので、こういう機会ができて良かったです。(高校3年生)

※令和元年度に活動した方の写真です。

南粕谷 元気会

老人の方に楽しいお話も聞かせてもらい、「だ液分泌測定」体験など、めずらしいことがやれてよかったです。老人の方ともこれからも関わりを深めていきたいです。ボランティアをまたやり、何かできることを探して、これからもがんばっていきます。(中学2年生)



だ液分泌測定のお手伝いの様子

団体ボランティア紹介

なごネットミニ二四駆走行会



Q 活動内容について教えてください。

A 月に1回程度、知多市や常滑市の公民館でミニ四駆を走らせるコースを設置して走行会を開催しています。最近では、児童センターで製作体験を開催しました。



走行会での様子

小学生以上を対象として、ニッパーやドライバーなどを使って製作します。

Q 活動中のやりがいは、ありますか。

A 子どもたちがコースでミニ四駆の速さや迫力のある音に興奮しながら喜んでい

る姿を見ると嬉しくなります。

大人も子どもも同じルールで一緒になって楽しみ、夢中になってもらえることにもやりがいを感じます。

Q 活動の中で大切にしていることは何ですか。

A いろいろな人に協力してもらいながら、活動していますが、なにより、参加者の皆さんが楽しめる場になる様に気をつけています。自分の手で作り上げるミニ四駆の可能性や楽しみを知ってもらえたら嬉しいですね。



タミヤ社製ミニ四駆

登録ボランティア支援

センターでは、登録している団体ボランティアに、①協働事業の実施と、②運営費等の助成事業を実施しています。

コロナ禍でボランティア活動はどうしても鈍化してしまっています。少しでも活動が活性化するように今年度も支援していきます。

① 団体ボランティア

協働事業

助成金交付事業

【採択団体】 旭箏曲クラブ

【採択事業】

「街かど ”お箏”」

【内容】

市内（現在調整中）で、お箏の体験や演奏を予約制で実施し、気軽に箏を楽しめる場を提供します。箏の音色を通して音楽を楽しみ、コロナ禍で引きこもりがちなたたの生活に潤いを与えます。

詳細は、後日ホームページやSNS等でお知らせします。

② 団体ボランティア

運営費等

助成金交付事業

【備品費助成】

【採択団体】

ガールスカウト

愛知県第95団

【採択備品】

・プロジェクター

・たき火台

【事務費助成】

【助成申請団体】

13団体

【助成額（合計）】

95,000円

① 「団体ボランティア協働事業助成金交付事業」と、②

「団体ボランティア運営費等助成金交付事業（備品費助成）」は、5月26日（水）に開催された知多市総合ボランティアセンター運営費委員会の審査を経て採択されています。

まごころあいがとう

令和3年3月6日～令和3年6月21日

次のみなさまから寄付をいただきました。厚く感謝申し上げます。(敬称略)

♥寄付金

- ①一般社団法人 Bumpy Company 代表理事 片山麻有
4,900円(障がい者福祉事業推進のために)
- ②日本製鉄旧冷延ロール整備OB会 会長 所一
46,000円(社会福祉事業のために)



♥寄付物品

- ③ENEOS株式会社 知多製造所
第51回ENEOS童話賞作品集 30冊
- ④あいち知多農業協同組合 知多事業部
知多米「あいちのかおり」100kg



小中学生 夏休みにチャレンジ!

赤い羽根作品コンクール書道・ポスター、
ふくし川柳を募集しています。
募集の詳細は、ホームページへ

<https://www.chita-shakyo.com>



ふれあい・いきいきサロンリレー ④ サロン・ド・カフェ らでいっしゅ

「サロン・ド・カフェ らでいっしゅ」は“誰が来てもいい、いつ来てもいい、いつ帰ってもいい”そんな居場所を目指して開設されました。周辺にはお花が植えられていて、訪れるだけで笑顔になれる、そんな地域の居場所です。

モーニングやランチを提供するカフェとしても営業しており、14時から地域住民に開放されたサロンです。

サロンでは趣味や経験を活かした歌声喫茶や脳トレ予防教室などのサークル活動が定期的に行われています。

また、PC・スマホ教室もあり、年賀状を作成したり、コロナワクチンのネット申込みの方法を調べるなど、参加者同士で教え合う“お互いさま”の関係を楽しんでいます。

昨年度は年間で228日間開放され、延べ5,895人の地域住民が集いました。「くらしの相談センター」※を常設していて、日常のちょっとした困りごとを相談することも出来、誰かが常にいる会話が楽しめる場所です。

ぜひ一度、のぞいてみてください



サロン活動の様子

活動日時	毎週火・水・木・金・日曜日 14:00～17:00
活動場所	旭南1丁目21-3
利用料	喫茶店での飲食代

※困りごとの解決をお手伝いする生活支援コーディネーターがいます。